

日本文化委員会の活動紹介

土橋 園子

こんにちは！ 今年の夏は、暑かったですね。
会員の皆様方は、体調を崩されていませんか？

日本文化委員会では、活動のパートナーとして協力可能な日本文化の技術を身につけようとの思いから、本年度の活動として「折り紙」の研修を計画しました。

「折り紙」の起源は、中国起源説・日本起源説・スペイン起源説など様々ありますが、現在では、日本語の「折り紙」という言葉が世界各国で、日本文化のひとつとして浸透しています。

また、日本の「折り紙」は、折り鶴・紙飛行機などの「遊戯折り紙」と、熨斗などの「儀礼折り紙」とに大別できます。

今回は、私ども「YNVの会」にも何度かご協力いただいております甲府市在住の、有泉様に講師としてご協力いただき、どちらかに限定することなく、出席者の希望に添って色々なものに挑戦いたしました。

これまで2回の研修を開催しましたが、その内容をご紹介します。

第1回目、8月8日（木）午前9時よりボランティアセンター3階会議室で実施いたしました。

朝から蒸し暑く、「暑いねー。暑いねー。」という言葉がご挨拶がわりの中、有泉先生ご持参の「ふくら雀」「スワンのケース」に「ワー、ステキ」「可愛いわね〜」「私、これを作りたいわ」などなど・・・。

参加メンバーの希望はすぐに一致、早速先生にご指導いただき「ふくら雀」の製作に取り掛かりました。

「ここはどう折るの〜」「ここは山折り？谷折り？」「ここはこれでいいの？」など大騒ぎの中、ひとつ出来上がるたびに「できた！できた！」と大歓声！！そして、区切りのいいところで、皆で **Teatime**・・・。

何の連絡もないのに、それぞれが持ち寄った「ぶどう」「お菓子」「キャンディー」の出現。やはり、これもみんなの楽しみのひとつだったのですね。

一息入れたところで、後半は、「ぽち袋」の折り方を教えていただきました。

「ぽち袋」は、熨斗型と風車型の2種類を作りました。

「きれいにできたね」「こんな袋でいただくとうれしいわね」「〇円ぐらいだったら、このくらいの大きさでちょうどいいわね」など、話に花が咲きました。最後に、出来上がった作品を前に満足気に、参加者全員（3名+講師だけでした）が記念写真に納まり、研修1日目が無事終了いたしました。

<作品と参加メンバー>



←第1回製作作品



←熱心に学びました



←作品を前に充実感に溢れています



←学んだこと覚えていただけるかしら？

第2回目、8月22日（木）午前9時よりボランティアセンター3階会議室で前回同様に実施いたしました。

今日も暑いですが、ボランティアセンターは、節電のため9時半にならないとエアコンが入りません。それでも、時間に遅れず集合しているメンバーの心意気には、脱帽！！

エアコンが入るまで、扇風機で耐え忍び（といっても、折り紙が飛び回るので扇風機も強くできません）、今日も新しいものに挑戦！「コースター」2種類と「兜」を折りました。

同じ作品でも、折る紙を変えるだけでかなりイメージが異なって見えるのも不思議で、「次は、この紙で折ってみよ〜」「この紙使ったらどうかしら？」など、とても楽しくできました。

Teatimeも前回同様、メンバーのご自宅で収穫された無花果をいただきながら、アツという間のひとときでした。



←「兜」と「コースター」

8月は委員の方々もお忙しく、参加できる方が限られてしまいましたが、残り2回を予定しております。

日程は、9月12日（木）・26日（木）の午前9時よりボランティアセンターでの開催です。 次回は、くす玉に挑戦です。

日本文化委員会への登録者でない方もご参加可能ですので、ぜひ「折り紙」をお楽しみください。